

【小学校 国語】の学習指導の改善・充実のポイント

<p>ポイント1 問題に対する解答文の書き方を指導する。③二より</p> <p>問題文 <u>寺田さんと山本さんが、どのような思いで ボランティアを続けているかについて、分かったことを書きましょう。</u></p> <p>解答型 <u>寺田さんと山本さんが、〇〇な思いで ボランティアを続けていることが分かりました。</u></p> <p>ポイント2 複数の資料から分かったことを結び付けて、文章を書きの書き方を指導する。</p> <p>ポイント3 学習した漢字や言葉を授業などで活用させて、定着させる。</p>
--

調査結果の概要

領域	結果の概要 (◇：比較的できている ◆：課題)
[知識及び技能] 言葉の特徴や使い方	◇ 「比べる」の漢字を送り仮名に注意して、文の中で正しく使うことができる。 ① 三(2) ◆ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。 ① 三(1) 意外： ^{いがい} 期間： ^{きかん} ◆ 日常よく使われる敬語の「おっしゃった」と「うかがって」を使うことに課題がある。 ③ 三
情報の扱い方に関する事項	◆ 原因と結果など情報と情報との <u>関係</u> を結び付けることに課題がある。 ① 一 ◆ 情報と情報とや語句と語句との <u>関係</u> を結び付けることに課題がある。 ② 三
[思考力、判断力、表現力等] 話すこと・聞くこと	◆ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと <u>比較</u> しながら、 <u>自分の考えをまとめる</u> ことに課題がある。 ③ 二
書くこと	◆ <u>文を引用したり、図・表やグラフなどから分かることを結び付けて書く。</u> <u>自分の考えが伝わるように書く</u> ことに課題がある。 ① 二
読むこと	◆ <u>運動と食事の二つの資料を読んで分かったことを結び付けて書く。</u> <u>文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめて書く</u> ことに課題がある。 ② 四

指導改善のポイント

[知識及び技能]

言葉の特徴や使い方に関する事項 ① 三(1)、 ③ 三

漢字や敬語等を使って文を書く授業など、学習内容を活用することで定着させる。

情報の扱い方に関する事項 ① 一、 ② 三

資料と資料や語句と語句を結び付けて考え、考えたことは書かせることで定着させる。

[思考力、判断力、表現力等]

話すこと・聞くこと ③ 二

聞くことでは、例えば、インタビューを通して、自分の理解が曖昧なときには、理解を確認する質問をする。具体的には、キャリア教育と関連付けて「働く上で大切なこと」について、社会人にインタビューをして、「大切なこと」「なぜ大切か」などの内容と「自分の考え方に生かしたい部分」を聞き取り、その内容を、主語など書き方を指導しながら書かせる。

書くこと ① 二

文章や図・グラフ・表など複数の資料から分かることを結び付けて書く経験を重ねる。

読むこと ② 四

目的を明確にして、二つの資料を読んで分かることを結び付けて書く経験を重ねる。具体的には健康に過ごすために、運動と食事の効果を結び付けて自分の考えを書けるようにする。

【中学校 国語】の学習指導の改善・充実のポイント

ポイント1	目的に応じて集めた情報を整理し、それを基に自分の考えを書く指導をする。
ポイント2	問題に対する解答文の書き方を指導する。 <u>2</u> 四より
問題文	あなたなら、これから、どのように本を読んでいきたいと考えますか。
	① <u>文章の中から着目した点を抜き出して書きなさい。</u>
	② <u>経験や知識に触れながら、これから、どのように本を読んでいきたいか書きなさい。</u>
解答文例①	<u>同じ本でもいつも読むたびに新しい発見があります。</u>
	② <u>私は、再読することはあまりなかったけれど、これからは、新しい発見をしたいので、前に読んだ本をもう一度読んでいきたいと考えています。</u>
ポイント3	学習した漢字や言葉を授業などで活用させて、定着させる。

調査結果の概要

領域	結果の概要 (◇：比較的できている ◆：課題)
〔知識及び技能〕 言葉の特徴や使い方	◇ 「落胆する」の意味が「がっかりする」ということを理解している。 <u>2</u> 一 ◆ 「おし量って考える」を「 <u>推</u> し量って考える」と漢字を使うことに課題がある。 <u>3</u> 二
情報の扱い方に関する事項	◆ 「判じ絵」とは何かの説明文を、「どのようなもので」、「いつできたのか」に分ける箇所を見つけて、そこに入る見出しを書くことに課題がある。 <u>3</u> 三
我が国の言語文化に関する事項	◆ 読書に関する文章を読んで、自分が着目したところを抜き出し、自分はこれからどのように本を読んでいきたいか考えたことを書くことに課題がある。 <u>2</u> 四 ◆ 竹取物語の原文「いとつくし」の「いと」が現代語の「とても」、「まことに」と同じ意味であることを理解していないことに課題がある。 <u>4</u> 二
〔思考力、判断力、表現力等〕 話すこと・聞くこと	◆ インタビューの内容を基に、目的に沿って自分の考えをまとめて書くことに課題がある。 <u>1</u> 四
書くこと	◆ レポートを順を追って書こうとして、はじめに調べる理由を明確にするために、「興味をもち」を「興味をもったため」に書き直した。言葉の使い方を工夫して分かりやすい文章にすることに課題がある。 <u>3</u> 一 ◆ 「判じ絵」の面白さを根拠を明確にして、自分の考えが伝わるように書くことに課題がある。 <u>3</u> 四
読むこと	◆ 竹取物語を、現代の人が読んでも分かりやすくなるよにするために、どのような工夫があるかを読み取ることに課題がある。 <u>4</u> 三

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕

情報の扱い方に関する事項 3三

レポートを順を追って書けるように、レポートの「はじめに」に書かれている、例えば、「判じ絵はどのようなものか、いつ生まれたか、どのように現代に伝わったか」の順に、情報と情報のまとまりで分けたり、結び付けたりする経験を重ねる。

我が国の言語文化に関する事項 2四

例えば、読書に関する文章を読んで、自分が着目したところを抜き出させ、具体的に自分はこれからどのように本を読んでいきたいかなど、考えたことを書けるようにする。

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと 1四

聞くことでは、例えば、インタビューを通して「明確にしたい部分や詳しく聞きたい部分」「自分の見方や考え方に生かしたい部分」を聞き取る。具体的には、キャリア教育と関連付けて「社会で働く上で大切なこと」について、「大切なこと」「なぜ大切か」「そのためにどうしているか」などの内容と「それを自分の見方や考え方にどのように生かすか」を結び付けて書くことで、聞く能力を育てる。

書くこと 3一

レポートの書き方を指導する必要がある。レポートは、例えば、はじめにの調査目的、調査内容、調査方法、調査結果、考察、まとめ等の順に書く経験を重ねる。

読むこと 4三

例えば、竹取物語を現代の人が読んでも分かりやすくする具体的な工夫や登場人物の心情や設定、物語の展開の仕方を読み取り理解できるようにする。理解したことは、書かかせて読む能力を育てる。

【小学校 算数】の学習指導の改善・充実のポイント

説明文を3段程度で書けるようにする必要がある。具体的には、1段目は、なぜその式になるか。2段目は、なぜその数値になるか。3段目は、計算の結果など。

ポイント1 計算の性質、図形の性質、二つの数量の関係、表やグラフ、図から分かることなど、「事実」を記述できるようにする。

ポイント2 問題を解決する見通しをもち、筋道を立てて考え、その考え方や解決方法、求め方、解決の過程など「方法」を記述できるようにする。

ポイント3 ある事柄が成り立つ理由や判断の理由を「AだからB」のように「理由」を記述できるようにする。

調査結果の概要

領域	結果の概要 (◇：比較的できている ◆：課題)
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ◆①筆算の仕方を説明することに課題がある。思考・判断 [3] (4) ◆②ファイル23人分を全部並べたときの長さの<u>求め方を説明する</u>ことに課題がある。思考・判断 [3] (2)
図形	<ul style="list-style-type: none"> ◆③正三角形の角の大きさの意味や性質を理解することに課題がある。知識 [2] (3) ◆④高さや底辺の長さが等しい二つの三角形の面積の大きさが等しい<u>理由を説明する</u>ことに課題がある。思考・判断 [2] (4)
変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ることができる。知識・技能 [1] (1) ◆⑤百分率で30%と示された割合を選ぶことに課題がある。知識 [4] (1) ◆⑥椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの<u>求め方を説明する</u>ことに課題がある。思考・判断 [1] (3)
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆⑦表から条件に合う数を読み取ることに課題がある。知識・技能 [4] (4) ◆⑧例文を参考に二つのグラフから読み取れる<u>事実を説明する</u>ことに課題がある。思考・判断 [4] (3)

指導改善のポイント

「数と計算」

- ① 筆算の仕方を理解させて問題を解くだけでなく、筆算の手順を繰り返し書かせる、暗唱させるなどをして定着させる。
- ② 一つ分の大きさの幾つ分の考えを使って全体の数の求め方を書けるようにする。

「図形」

- ③ 正方形、長方形、直角三角形、二等辺三角形、正三角形、平行四辺形などの図形を移動したり、回転したり、裏返したり、組み合わせたり、対角線で切ったり、二つに折って重ねたりする数学的活動を通して、角の大きさや辺の長さ、面積の大きさの性質を調べることで理解を深める。
- ④ 単位量の幾つ分という既習の内容を基に、長方形、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積の求め方を考え、説明を書かせる活動を繰り返し行わせて思考力・表現力を高める。

「変化と関係」

- ⑤ 100人の中の10%、15%、20%、30%、60%、1割、2割、3割、6割の人数を求める数学的活動を行う。さらに理解を深めるために、例えば、10%を20%、30%、60%、1割、2割、3割、6割と結び付けて理解を深める。
- ⑥ 単位量の幾つ分という考えを使って全体の数の求め方を書けるようにする。

「データの活用」

- ⑦ 表から条件に合う数を読み取れるようにする必要がある。他教科や普段の生活と結び付けて表を活用する経験を重ねる。
- ⑧ 表やグラフから分かる事実を書けるようにする。

【中学校 数学】の学習指導の改善・充実のポイント

<p>説明文を3段程度で書けるようにする必要がある。具体的には、1段目は、なぜその式（数値）になるか。2段目は、なぜその数値（式）になるか。3段目は、計算の結果など。</p> <p>ポイント1 <u>成り立つと予想される事柄や事実を「〇〇ならば、◇◇になる」のように「前提」と「結論」を記述できるようにする。</u></p> <p>ポイント2 <u>事柄を調べる方法や手順を記述できるようにする。</u></p> <p>ポイント3 <u>事柄が成り立つ理由を「〇〇であるから、◇◇である」のように「根拠」と「成り立つ事柄」を記述できるようにする。</u></p>

調査結果の概要

領域	結果の概要（◇：比較的できている ◆：課題）
数と計算	<p>◇ 計算の例を参考に、はじめの数値が変わっても計算結果を求めることができる。知識・技能 [6] (1)</p> <p>◆① 計算の例を参考に、計算結果が4の倍数になる条件を「<u>〇〇ならば、◇◇になる</u>」の形で書くことに課題がある。思考・判断 [6] (3)</p> <p>◆② 自然数の意味を理解して、-5、0、3、4、7、9の中から自然数を選ぶことに課題がある。知識 [1]</p>
図形	<p>◆③ 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解していないことに課題がある。知識 [3]</p> <p>◆④ 2本の直線が平行であることを合同な図形を基に、錯角が等しいことを示して証明することに課題がある。思考・判断 [9] (1)</p> <p>◆⑤ 2本の直線が平行でないことを条件が変わって合同な図形が二等辺三角形でないことを基に証明することに課題がある。思考・判断 [9] (2)</p>
関数	<p>◆⑥ yがxに反比例し、比例定数が3のとき、$x \times y = 3$になることを理解していないことに課題がある。知識 [4]</p> <p>◆⑦ 一次関数のグラフから分かることを読み取ることができないことに課題がある。知識 [8] (1) 知識 [8] (2)</p> <p>◆⑧ 知りたいことをグラフや式から求める方法を説明することに課題がある。思考・判断 [8] (3)</p>
データの活用	<p>◆⑨ 累積度数の意味を理解していないことに課題がある。知識・技能 [5]</p> <p>◇⑩ 四分位範囲の意味を理解してる。知識 [7] (1)</p> <p>◆⑪ 四分位範囲や箱ひげ図から読み取ったことを基に説明することに課題がある。思考・判断 [7] (2)</p>

指導改善のポイント

<p>「数と計算」</p> <p>① 「<u>〇〇ならば、◇◇になる</u>」のように事柄や事実を書けるようにする。</p> <p>② 自然数を整数と比較して、その違いを書かせるなどして質の高い理解をさせる。</p> <p>「図形」</p> <p>③ 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されること具体物を使い理解させるだけでなく、<u>掲示したり、繰り返し書かせる</u>など、復習を積み重ねることで定着させる。</p> <p>④ 簡単な証明を繰り返し書くことで、証明の書き方を定着させる。</p> <p>⑤ 根拠を示して筋道立てて証明を書いたり、読んだりすることを繰り返すことで、証明の内容を読み取れるようにする。</p> <p>「関数」</p> <p>⑥ yがxに反比例し、比例定数が3のとき、$x \times y = 3$になることを<u>掲示したり、繰り返し書かせたり</u>するなど復習を積み重ねることで定着させる。</p> <p>⑦ グラフから分かることを<u>繰り返し書かせる</u>など復習を積み重ねることで定着させる。</p> <p>⑧ グラフの交点から、yの値を読み取ること、方程式を解いて、yの値を求めることを繰り返すことで定着させる。</p> <p>「データの活用」</p> <p>⑨ 累積度数の意味を掲示したり、計画的に復習させたりすることで定着させる。</p> <p>⑩ 四分位範囲の意味を掲示したり、計画的に復習させたりすることで定着させる。</p> <p>⑪ 四分位範囲や箱ひげ図から分かることを<u>繰り返し書かせる</u>など復習を積み重ねることで定着させる。</p>

【中学校 英語】の学習指導の改善・充実のポイント

【参考】全国平均正答率

	R1	R5
聞	68.3%	58.9%
読	56.2%	51.7%
書	46.4%	24.1%
話	30.8%	12.4%

ポイント1 知識を繰り返し使いながら、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける活動を取り入れる。

ポイント2 各技能を結びつける領域統合型の言語活動を行う。
(例) 教科書本文で読んだことについて、1行から段階的に自分の感想や考えを書く。

ポイント3 言語活動の中で、言語材料を理解したり練習したりしながら定着を目指す指導を行う。

調査結果の概要

領域	結果の概要 (◇:比較的できている ◆:課題)
聞くこと	◇ ある情報に関して話し手の交換がなく話されれば、情報を正確に聞き取ることは比較的できている。1 (1) (3) ◆ 目的に対する必要な情報を聞き取ることに課題がある。 2 ◆ 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることに課題がある。 3
読むこと	◆ 情報を正確に読み取ることに課題がある。5 (1) ◆ 事実と考えを区別して読むことに課題がある。5 (1) ◆ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることに課題がある。 6 ◇ 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることは比較的できている。 7 (1) ◆ 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることに課題がある。 8 (1) (2)
書くこと	◆ 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことに課題がある。 9 (1)① ② ◆ まとまりのある文章を書くことに課題がある。10
話すこと 〔やり取り〕	◆ 日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことに課題がある。 1 (4)
話すこと 〔発表〕	◆ 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題がある。 2

指導改善のポイント

聞くこと

自分の置かれた状況を把握できているか、何を聞き取ればよいかを理解しているかを確認した上で、自分に必要な情報を聞き取ることが求められる。例えば、「駅のアナウンス」や「イベント予告」など身近な場面での英文や、「水」や「貧困」など社会問題に関するスピーチなどを聞き、語句や表現に注目しながら目的や場面にあった必要な情報を聞き取ることができるようにする。

読むこと

語句や接続表現などを手掛かりに、段落内の情報を正確に把握したり、各段落の主な内容を関係付け、文章全体の大まかな内容を捉えたりする指導が大切である。例として、広告や手紙、電子メール、日記、説明文など様々な読み物を活用して、必要な部分を読み取る力や大まかな内容を捉える力を育てる。さらに、読み取った内容に自分の考え及び理由を加えるなどして書く力も伸ばす。

書くこと

メールやレポートなどタイプに合わせた書き方(内容、構成)のモデルを示した上で、既習の語や文法を使って自分で複数の文をつなげて書くことができるようにする。その際、読み手の視点から見直し、目的に応じて語句やつづり、表現等の修正をしていくことが必要である。

話すこと〔やり取り〕〔発表〕

〔やり取り〕では、同じ話題を複数扱い言えることを少しずつ増やしていく。その際、基本的な語や文法、表現についてフィードバックを与えるなどして、正しい表現も意識させる。意見や理由を述べる活動では、相手に伝わりやすい形を示して練習することも求められる。

〔発表〕では、日頃の授業から生徒が聞き手を考慮して自分の考えを述べる機会を設定することが不可欠である。その留意点として、十分な準備をするものだけでなく、聞いたり読んだりしたものに自分の考えや気持ちを理由とともに話すなどの言語活動に慣れさせる時間を確保する。